

特 集

第7回「子ども学会議」報告

(第7回 日本子ども学会 学術集会)

ご挨拶

第7回「子ども学会議」のご報告と御礼

渡部 茂 (大会推進委員長/明海大学歯学部教授)

第7回子ども学会議、「子どもサポートの統合 — 危機にある子どもたち」は、本学会では初めての、医療保健領域からの発信となりました。

「人間に関する学問は、[心] (人文科学) と [体] (自然科学) の二元論で扱われているが、子どもたちが健やかに成長していくためには両者を自由に往還させ、あらゆる学問体系を連携させる必要がある」と本学会設立の趣旨にもあるとおり、各領域における子どもサポートを統合することは今、子ども世界に求められている最も重要な課題と思われます。

本学術会議においては、特別講演でサラ・フリードマン先生による Child Care と高木裕三先生による口腔保健、教育講演では井上美津子先生による食育が、それぞれ子どもの成長にいかに関与を及ぼすかについての検証が行われました。そして5題のシンポジウムでは、無防備な子どもの心や体が煙草、発達障害、虐待、事故、貧困という言葉に代表される人間社会の中で、どのように渦巻き、蝕まれているか、それぞれの専門家による分析が報告されました。子ども社会をあ

ぶり出し、社会的に、構造的にメスを入れようとする、今までにない試みであったと思います。

2日間の学術会議は終了しましたが、すぐには結論が出ない、解決されない多くの課題が残りました。しかし、私たち子ども学会会員が今後、一つひとつの問題解決に向けて動きだすこと、そして学会をさらに発展させていくことが何より重要であるという確信を持ちえたこと、それが本学術会議開催の大きな収穫であったと思います。

会開催に当たりましては埼玉小児保健協会等、多くの組織より御後援をいただきましたこと、また関連企業の御参画に対しまして心よりお礼申し上げます。準備に当たり、大会推進委員会、本学小児歯科医局員が全力を挙げて望みましたが、不備等が多々生じたことを深くお詫びいたしますと共に、無事大会を終えることができましたことを心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

第7回 子ども学会議学術集会

子どもサポートの統合 — 危機にある子どもたち —





● 概要

テーマ：子どもサポートの統合——危機にある子どもたち

日時：2010年10月2日（土）・3日（日）

会場：川越市市民会館

主催：日本子ども学会

主管：明海大学歯学部 形態機能生育学講座口腔小児科学分野

後援：埼玉県小児保健協会、日本小児保健協会、日本小児歯科学会関東地方会、日本小児歯科学会、全国小児歯科開業医会、日本小児科学会、日本歯科医師会、日本障害者歯科学会、埼玉県歯科医師会、日本歯科衛生士会、日本看護協会、日本子ども虐待防止学会、日本学校歯科医師会、キッズデザイン協議会、日本保育園保健協議会、日本保育協会、全埼玉私立幼稚園連合会、日本禁煙学会坂戸市、川越市、明海大学

プログラム

● 第1日目

09:35 ~ シンポジウム1「子どもを煙草から守る」

11:10 ~ 大会長講演「小児歯科と子ども学」

13:00 ~ 特別講演2「歯と口の保健と子どもの成長」

14:00 ~ シンポジウム2「自閉症をめぐる」

16:10 ~ シンポジウム3「子どもの医療関係者による虐待早期発見と予防」

【別会場】

13:00 ~ 日本禁煙学会・全国禁煙アドバイザー育成講習会併催

18:00 ~ ポスター討論

18:40 ~ 懇親会

● 第2日目

09:10 ~ シンポジウム4「子どもの傷害予防に取り組む」

11:20 ~ 教育講演「歯科から行う子どもの食育支援」

13:30 ~ 特別講演「Child Care and Development」

14:40 ~ シンポジウム5「子どもの貧困を根絶していくために」

【別会場】

10:00 ~ 市民公開講座「お母さんは救命士」、AED講習

【別会場】

11:45 ~ ランチョンセミナー「効果的な口腔衛生」